

「ふくおか」の
元気な企業を訪ねて。

Hello, Company!

No.23

有限会社 ウエキモールド

ウエキモールドは1998年の創業以来、自動車や弱電部品向け金型一筋で業容を拡大してきました。最近は医療や食品、建築資材分野にも事業が広がっています。一方で採用難から、若い技術者の不足に危機感を抱いてもあります。北九州市主催のインターンシップ(職業体験)に応募してみたものの、中小製造業にやってくる若者は少なく悩んでいました。そこで(公財)福岡県中小企業振興センター主催の「海外高度人材インターンシップ」を知り、思い切って応募してみました。



同社では国際色が濃くなりつつある

DATA | 企業概要



企業名 有限会社 ウエキモールド
代表者 松尾 八郎
所在地 福岡県鞍手町大字新北20の5
TEL 0949-42-8191
FAX 0949-42-8199
E-mail info@ueki-mold.jp
URL http://ueki-mold.jp
従業員数 15人
事業内容 プラスチック金型設計・製作・試作

外国人材の活用で 金型の世界を広げる

韓国人技術者を採用



金型製作には人の技術も欠かせない

松尾社長は「真面目で熱心、日本での就労意欲も高い」と韓国の学生を高く評価しています。ですがセンターとは別

団体のイベントでは韓国の学生と面談したものの、その後に進展しなかった経験があります。また実際に自ら韓国に足を運んで面談にこぎ着けようと努力しましたが日韓の政治的問題も影響してかなわなかったこともありました。そんな中（公財）福岡県中小企業振興センターの「韓国高度人材インターンシップ」で金型設計を学びたいインターン生がいることを知り、3週間の受入れを決めました。

業務の国際化

インターン生は日本語が堪能で韓国の大学で金属応用力学を学んでいました。研修姿勢、人

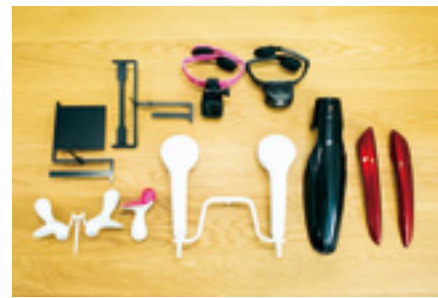


工場は整理整頓が行き届く

柄、能力いずれも満足いくものだったため、採用することとしました。ウエキモールドにはベトナム人技術者も数人働いており、国際色が濃くなりつつあります。松尾社長は今後、海外人材を採用することにより「海外メーカーへの外注も含む生産の国際化を進めるとともに、日本では自社ブランドを増やしたい」と意気込みます。

設計と技術に自信

もともと自動車や弱電分野に強い同社でしたが、リーマン・ショックで金型の受注が激減、売上高は1



マルチチョーカー

億円も減りました。苦しんだ末にたどり着いたのが、精密金型を求める医療業界でした。一眼レフカメラ用部品の製造技術が、医療器具金型に展開できると分かり道が開きました。同社は営業部門を持っておらず「受注製品の多くは顧客の紹介や口コミ」と松尾社長は苦笑いします。これは設計と技術に自信があり、顧客から信頼を得た証しでもあります。医療から始まった多角化ですが、今では食品や建築資材などに広がっています。

MESSAGE

経営者の声



松尾 八郎 社長

日韓関係は政治問題でこじれていますが、だからといって韓国人を採用しないということはありません。内定した技術者は日本語が話せる好感が持てる青年です。新時代の金型ビジネスを進める上で国際化は避けられず、今後も海外人材を積極的に雇用したいと考えています。初の自社開発製品「マルチチョーカー」は、カメラやライトを取り付けて首にかけるだけで両手が自由に使えるユニークな製品です。現場に趣味にと多用途に使えるので期待しています。

（お問い合わせ） 情報取引推進課 TEL：092-622-6680